

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場会社名 美濃窯業株式会社

上場取引所 名

コード番号 5356

URL <http://www.mino-ceramic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 滋俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・常務執行役員管理部門担当

(氏名) 中尾 晴一郎

TEL 052-551-9221

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,081	11.6	317	113.1	348	100.9	245	156.1
26年3月期第3四半期	6,344	5.4	148	—	173	157.5	95	573.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 365百万円 (57.0%) 26年3月期第3四半期 232百万円 (593.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	23.64	—
26年3月期第3四半期	9.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,315	—	7,274	—	49.6	—
26年3月期	12,793	—	7,008	—	49.9	—

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,609百万円 26年3月期 6,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	2.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	6.0	520	99.9	540	67.4	310	102.5	30.38

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外2社美濃窯業製陶株式会社、モノリス株式会社

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	12,909,828 株	26年3月期	12,909,828 株
27年3月期3Q	2,707,052 株	26年3月期	2,430,593 株
27年3月期3Q	10,371,582 株	26年3月期3Q	10,449,189 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	3
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	（継続企業の前提に関する注記）	8
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
	（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が和らぎつつありますが、物価上昇に伴う実質所得低下の影響などから依然として弱い動きが続いています。住宅投資は駆け込み需要の反動の影響が和らぎ持ち直しつつあり、また、設備投資は企業収益の改善を背景に緩やかに回復基調を維持しています。

更に最近の円安や原油価格の大幅下落により、今後、個人消費や企業収益の押し上げ効果が期待できる状況になっています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高7,081百万円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益317百万円（前年同四半期比113.1%増）、経常利益348百万円（前年同四半期比100.9%増）、四半期純利益245百万円（前年同四半期比156.1%増）となりました。

各セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント利益は税金等調整前四半期純利益であります。

(耐火物)

主要顧客であるセメント業界の国内販売量は前期比減少傾向を辿るなか、耐火物事業は、受注活動強化の効果により売上高は順調に推移しましたが、特に円安に伴う原料価格の高騰が大きなマイナス圧力となりました。このような状況下、徹底したコストダウンに取り組みましたが、売上高は2,887百万円（前年同四半期比10.4%増）、セグメント損失は51百万円（前年同四半期は101百万円のセグメント利益）となりました。

(プラント)

プラント事業につきましては、国内の市場環境が回復傾向にある中で、新規開拓を含め、きめ細かな提案型の営業活動を積極的に推進してまいりました。加えて利益率改善に向けた各種コストダウンの施策に取り組んだ結果、売上高は2,551百万円（前年同四半期比28.1%増）、セグメント利益は305百万円（前年同四半期比712.7%増）となりました。

(建材及び舗装用材)

公共投資につきましては堅調に推移しましたが、民間投資は低調な状況で推移しており全体的には厳しい市場環境となりました。そうしたなか拮据努力を重ねてまいりましたが、受注は低迷する状態が続きました。このような状況下、原材料費のコスト削減等を進めてまいりましたが、売上高は1,469百万円（前年同四半期比12.8%減）、セグメント利益は6百万円（前年同四半期比83.9%減）となりました。

(不動産賃貸)

本社ビルの一部を始めとする社有不動産の賃貸が主なものであり、さらに収益性安定の確保のため平成26年1月に賃貸不動産を取得したことにより、売上高は153百万円（前年同四半期比347.3%増）となり、セグメント利益は106百万円（前年同四半期比332.5%増）となりました。

(その他)

主に、外注品等を販売する事業であり、売上高は19百万円（前年同四半期比2.8%増）となり、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比22.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

流動資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金やたな卸資産の増加などにより全体としては8,278百万円（前連結会計年度末比374百万円増）となりました。固定資産は、長期性預金が減少したものの、投資有価証券の増加などにより全体としては5,037百万円（前連結会計年度末比148百万円増）となりました。その結果、資産合計では、13,315百万円（前連結会計年度末比522百万円増）となりました。

(負債の状況)

流動負債は、短期借入金が増加したものの1年内償還予定の社債の減少などにより、全体としては3,978百万円（前連結会計年度末比143百万円減）となりました。固定負債は、社債の増加などにより、全体としては2,063百万円（前連結会計年度末比399百万円増）となりました。その結果、負債合計では、6,041百万円（前連結会計年度末比256百万円増）となりました。

(純資産の状況)

純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したことにより、7,274百万円（前連結会計年度末比266百万円増）となり、自己資本比率は49.6%（前連結会計年度末比0.3ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月11日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありました美濃窯業製陶株式会社及びモノリス株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,969,287	2,728,344
受取手形及び売掛金	3,610,991	3,235,677
有価証券	201,810	8,839
たな卸資産	1,826,622	2,101,607
その他	297,801	205,794
貸倒引当金	△2,310	△1,773
流動資産合計	7,904,202	8,278,489
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,034,293	2,034,293
その他(純額)	1,336,175	1,276,190
有形固定資産合計	3,370,468	3,310,483
無形固定資産		
	47,648	37,373
投資その他の資産		
投資有価証券	1,146,833	1,499,190
その他	341,938	208,430
貸倒引当金	△18,068	△18,098
投資その他の資産合計	1,470,703	1,689,521
固定資産合計	4,888,820	5,037,379
資産合計	12,793,022	13,315,869
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,762,261	1,766,850
短期借入金	1,130,000	1,310,000
1年内償還予定の社債	470,000	70,000
未払法人税等	48,390	57,190
賞与引当金	218,900	115,365
役員賞与引当金	4,000	3,000
製品保証引当金	22,605	36,647
工事損失引当金	2,855	19,571
その他	462,463	599,503
流動負債合計	4,121,474	3,978,127
固定負債		
社債	630,000	995,000
役員退職慰労引当金	189,806	182,342
退職給付に係る負債	590,896	607,805
資産除去債務	51,320	51,691
その他	201,209	226,372
固定負債合計	1,663,232	2,063,212
負債合計	5,784,707	6,041,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	877,000	877,000
資本剰余金	443,092	445,652
利益剰余金	5,398,518	5,594,225
自己株式	△580,993	△631,740
株主資本合計	6,137,617	6,285,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245,239	325,894
退職給付に係る調整累計額	△4,498	△1,124
その他の包括利益累計額合計	240,740	324,769
少数株主持分	629,956	664,622
純資産合計	7,008,314	7,274,529
負債純資産合計	12,793,022	13,315,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,344,073	7,081,789
売上原価	5,027,941	5,498,894
売上総利益	1,316,131	1,582,894
販売費及び一般管理費	1,167,231	1,265,661
営業利益	148,899	317,232
営業外収益		
受取利息	4,326	1,587
受取配当金	22,735	27,390
補助金収入	200	12,284
その他	11,680	9,397
営業外収益合計	38,941	50,658
営業外費用		
支払利息	10,841	12,291
社債発行費	—	6,394
その他	3,600	860
営業外費用合計	14,442	19,545
経常利益	173,398	348,346
特別利益		
固定資産売却益	22,707	10,299
投資有価証券売却益	1,685	14,324
現物配当に伴う交換利益	—	29,890
その他	6,656	10,400
特別利益合計	31,050	64,913
特別損失		
投資有価証券売却損	186	2,858
投資有価証券評価損	1,738	—
減損損失	12,390	—
災害による損失	1,444	—
その他	—	6
特別損失合計	15,758	2,865
税金等調整前四半期純利益	188,690	410,395
法人税、住民税及び事業税	16,970	73,435
法人税等調整額	58,117	56,473
法人税等合計	75,087	129,908
少数株主損益調整前四半期純利益	113,602	280,486
少数株主利益	17,888	35,353
四半期純利益	95,714	245,133

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	113,602	280,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,958	81,304
退職給付に係る調整額	—	3,373
その他の包括利益合計	118,958	84,677
四半期包括利益	232,560	365,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,594	329,161
少数株主に係る四半期包括利益	20,966	36,002

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	プラント	建材及び 舗装用材	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,614,035	1,991,550	1,685,027	34,262	6,324,876	19,197	6,344,073	—	6,344,073
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,144,780	—	10,565	7,053	1,162,399	27,148	1,189,548	△1,189,548	—
計	3,758,816	1,991,550	1,695,592	41,316	7,487,276	46,345	7,533,621	△1,189,548	6,344,073
セグメント利益	101,977	37,650	37,523	24,646	201,798	3,315	205,113	△16,422	188,690

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外注事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△16,422千円には、セグメント間取引消去△18,447千円、各報告セグメントに配分していない全社費用10,666千円、及びたな卸資産の調整額△8,641千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない固定資産売却益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、12,390千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	プラント	建材及び 舗装用材	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,887,159	2,551,782	1,469,850	153,262	7,062,054	19,735	7,081,789	—	7,081,789
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	858,298	—	922	7,053	866,275	—	866,275	△866,275	—
計	3,745,457	2,551,782	1,470,773	160,316	7,928,329	19,735	7,948,064	△866,275	7,081,789
セグメント利益 又は損失(△)	△51,372	305,973	6,027	106,587	367,215	4,050	371,265	39,129	410,395

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外注事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額39,129千円には、セグメント間取引消去△7,133千円、各報告セグメントに配分していない全社費用51,485千円、及びたな卸資産の調整額△5,222千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない子会社からの現物配当に伴う交換利益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。